

書牘卷之二（七）

取引約定証文

覚

今度、何品幾「包・箱」何貫何拾
目二付、何拾円替之相場ヲ以、
貴殿より買入の約定いた
し、其手附金として何円
相渡申候、全金之儀は、来
ル何日までに持参、品物に引
換相渡し申へく候、若シ右
日限ヲ越え候ハ、手附金は
流と相成、品物勝手二他に
御売捌成され候共、一切
故障之儀申出間敷候、後
日のため、約定証書さし
入候也、

明治何年何月何日

買主 何某

何某殿

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。